物質番号	物質名	CAS No.
49	ヒドラジン	7803-57-8

		項目			データ等	
	化学式		N ₂ H ₄ •H ₂ O			
	分子量(式量)		50.06			
灶	常温	こでの状態		無色発煙性アルカリ性の液体		
性状等	融点	Ī.		-51.7℃		
等	沸点	Ī.		120.1℃		
	水溶	幹解度		易溶		
	その)他		水およびアルコ	ールとは混和しやすくクロロホルムおよびエーテルに不溶	
取	主な	用途		プラスチック発泡 試薬、農薬など	包剤製造用、清缶剤、還元剤、重合触媒および各種誘導体、	
扱状況	製造	步•輸入量		8056t(第二種類 経済産業省 平	監視化学物質の製造・輸入数量の合計量の公表について ヹ成 21 年度)	
	その)他				
		急性毒性(経	口)	区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/	刺激性	区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性(GHS	健康	眼に対する 損傷性/刺激		区分1	重篤な眼の損傷	
性	承	生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GE		発がん性		区分2	発がんのおそれの疑い	
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。	
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
		法規制等		事故事例が確認	忍された物質(水質事故)	
選定 件 ① 当 》	該	事故の報告 事例	例1	貯槽タンクから約5000L漏洩した。施設外へは中性硫酸ヒドラジンと400L流出。本来ならばバルブが緩んでも漏洩を防ぐキャップを設置が、このバルブには設置されていなかったため、振動等によりバルブみ、漏洩したものと推定される。被害報告はない。		
			例2	_		
作業	李貞	会における				
専門	専門家の意見					
その)他			毒物及び劇物具	取締法(劇物)	

備考	

华	物質番号	物質名	CAS No.
	50	ヒドロキシルアミン	7803-49-8

	項目				データ等
	化学式		H ₃ NO		
	分子量(式量)		33.03		
性	常温	見での状態		無色透明の液体	
状等	融点	Ī.		33°C	
等	沸点	Ī.		77°C (60 mm F	Ig)
	水泻	幹解度		1000g/L(25℃)	、推定値
	その)他		水と任意の割合	で溶解する
取	→ →	用途		オキシムや染料	lの合成、重合防止剤、スチレンや天然ゴムの安定剤、医薬、
扱	土/3	、用歴		農薬、半導体製	製造における残さ除去剤原料等
状況	製造	b·輸入量		1万~10万 t/	年(経産省調査(平成 19 年度))
176	その	他			
		急性毒性(経	口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		皮膚腐食性/	刺激性	区分2	皮膚刺激
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷
性	涿	生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
IS 分		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
類	環	水生環境有害性 (急性毒性)		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		法規制等		事故事例が確認	忍された物質(水質事故)
選定件の当場		事故の報告 事例	例1	発・炎上事故に	ン製造工程における想定外の工程異常による再蒸留塔の爆 伴い、河川へ流出。作業員4名死亡、建物の窓、屋根全壊、 被害。河川のpH低下、魚のへい死、水道の取水停止、農作 性生。
			例2	_	
作業	[委]	会における			
朝	専門家の意見				
その	その他			毒物及び劇物	取締法(劇物)

備考	

物質番号	物質名	CAS No.
51	ホスゲン	75-44-5

		項目			データ等
	化学式		CCl ₂ O		
	分子量(式量)		98.92		
	常温	且での状態		独特の青草臭の	のある無色の圧縮液化ガス
性状	融点	Ī.		−118°C	
等	沸点	Ī.		8.2℃	
,,	水浴	容解度		5.94g/L(25 ℃)、推定値
	その)他		ベンゼン、トルコ	エンによく溶解し、水とは徐々に分解して炭酸ガスと塩酸にな
取扱状	主な	:用途			斗中間体の原料、イソシアネート類の原料として弾性体、接着 ポリウレタン系諸製品および繊維処理剤、除草剤に利用、医
況	製造	些•輸入量			
	その)他			
		急性毒性(経	口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		皮膚腐食性/	刺激性	区分2	皮膚刺激
有害性	健康	眼に対する 損傷性/刺激		区分2	強い眼刺激
性	131<	生殖細胞変異	具原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
(GHS		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
分類)	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	法規制等		事故事例が確認	図された物質(水質事故)	
選定 件の 当場		事故の報告 事例	例1	ていた仕切板を	ために、鉛直方向に設置された配管の継手部に取り付けられ と取り外す際に、当該継手部からホスゲン(約127g)を含むモン20Lが漏洩した。約50名が受診した。
			例2		
作業	美委員	 会における	<u>,</u>		
	専門家の意見				
	その他			毒物及び劇物	取締法(毒物)

備考 ベンゼンに溶解した事故事例があり。

物質番号	物質名	CAS No.
52	硫酸	7664-93-9

	項目				データ等
	化学式		H ₂ SO ₄		
	分子量(式量)		98.08		
性	常温	上での状態		無色の液体。濃	と 度の高いものは油状
状等	融点	į		10.31℃	
等	沸点	į		~ 290°C	
	水溶	F解度		1000mg/L(25°C	C)、実測値
	その	他			
取	±:+?	:用途		化学工業の基础	遊原料であり、特に肥料工業、繊維、無機薬品工業をはじめ
扱				金属製錬、製鋼	国、紡織、製紙、食料品工業など広範囲に使用される
状況		ē·輸入量		100万~1000万	万 t/年(経産省調査(平成 19 年度))
	その	·			
		急性毒性(経口)		区分5	飲み込むと有害のおそれ
		皮膚腐食性/		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷
性	涿	生殖細胞変異原性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
ĞН		発がん性		分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
分類	環	水生環境有害 (急性毒性)	手性	区分3	水生生物に有害
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		法規制等		事故事例が確認	忍された物質(水質事故)
選定	三条		例1	屋外タンクより湯	農硫酸約2000Lが排水路を経由し、河川に流出。魚類へい
件の	該	事故の報告	15.il T	死(約500匹)	
当步	犬況	事例	例2	貯蔵タンクから	流出した硫酸が防液堤のひび割れから地下に浸透し、周辺
			V124	の河川へ約52	7L流出した。魚類斃死。人への健康被害は無い。
		会における			
		意見			
その	その他			毒物及び劇物	取締法(劇物)

備考		

物質番号	物質名	CAS No.
53	硫酸ジメチル	77-78-1

	項目				データ等	
	化学	经式		C ₂ H ₆ SO ₄		
	分子量(式量)		126.13			
	常温での状態			無色の液体		
性	融点			-27°C		
性状等	沸点			188℃		
',	水溶	下解度		28g/L(18℃)、実測値		
	その他			水、脂肪族炭化やかに分解する	ヒ水素に難溶、水とは冷時徐々に熱または酸の存在により速 る	
取扱	主な	:用途		多くの有機合成薬品の合成など	成のメチル化剤、中間物アニソール・香料ネロリンの合成、医 ご	
状	製造	Ŀ·輸入量		1万~10万 t/	年(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その)他				
		急性毒性(経	口)	区分3	飲み込むと有毒	
		皮膚腐食性/	刺激性	区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性(GHS	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
性	承	生殖細胞変異原性		区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い	
(GH		発がん性		区分1	発がんのおそれ	
		生殖毒性		区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分2	水生生物に毒性	
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		法規制等		事故事例が確認された物質(水質事故)		
選兌	官条			ジメチル酸を混合攪拌槽に注入する作業中に現場を離れた際に約20Lオー		
件の)該	事故の報告	例1	バーフローした	。5人の作業員が中和及び回収作業を行った。作業員3人入	
当北	犬況	事例		院、2人通院。		
			例2	_		
	業委員会における					
専門	門家の意見				or (day) (hald)	
その)他		毒物及び劇物 GHS分類対象 要調査項目	取締法(劇物) ・物質リスト(環境リスク「高」)		

/	
/ 一一	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
ע נווע	

!	物質番号	物質名	CAS No.
	54	次亜塩素酸ナトリウム	7681-52-9

	項目				データ等	
	化学	兰 式		ClNaO		
	分子量(式量)		74.44			
性	常温での状態		白色の固体			
状等	融点		18℃(五水和物)			
等	沸点	Ī.		100℃(分解)		
	水溶	\$解度		1000g/L(25℃))、推定値	
	その)他				
取	主な	用途		繊維・パルプの	漂白, 水処理, 医薬, 食品添加物, 殺菌剤(失効農薬)	
扱状	製造	生·輸入量		10万~100万	t/年(経産省調査(平成 19 年度))	
況	その	,				
		急性毒性(経		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		皮膚腐食性/刺激性		区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分1	重篤な眼の損傷	
性	135	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
IS 公		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類)	環	水生環境有害性 (急性毒性)		区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境	水生環境有害 (慢性毒性)	手性	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
		法規制等		事故事例が確認	忍された物質(水質事故)	
選別件の		事故の報告	例1		剤タンク(1,000L)を清掃中に誤って排水し、浄水場から 98L が流3km に亘って魚(約 150kg)が斃死した。	
当步	犬況		例2		ことにより、プール(スイミングクラブ)から消毒用の次亜塩素 40L が排水された。コイ、オイカワなど約 1,000 尾が斃死した。	
	業委員会における 門家の意見			残留塩素の原	因物質であるため留意する必要がある。	
その	その他			専門家判断で 事故事例が確認	必要性が指摘された物質 忍された物質	

備考	「残留塩素」の原因物質として指摘された。
----	----------------------

物質番号	物質名	CAS No.
55	エストックス(ESP)	2674-91-1

	項目				データ等	
	化学	全式		$C_7H_{17}O_4PS_2$		
	分子量(式量)		260.3			
	常温での状態		無色ないし淡黄色液体			
性状等	融点	Ŕ		-		
等	沸点	Ī.		115℃(0.02mml	Hg)	
	水溶	\$解度		700g/L 以上(2	0°C)	
	その)他		·	シレンに可溶であるが、ヘキサンにはほとんど溶解しない。 定、酸・アルカリに対して比較的不安定	
取	主な	 :用途		農薬(H12 年失		
扱状		<u>₹/17~</u> ₺•輸入量		722/2011 170		
況	その					
		急性毒性(経口)		_	-	
		皮膚腐食性/刺激性		_	-	
右	ft-	眼に対する重篤な				
害	健康	損傷性/刺激性		_	_	
有害性(GHS	1314	生殖細胞変異原性		_	-	
GH		発がん性		_	-	
		生殖毒性		_	-	
分類		水生環境有害性			_	
	環境	(急性毒性)				
	境	水生環境有害	手性	_	_	
		(慢性毒性)				
選兌	?条	法規制等	T		認された物質(水質事故)	
件の		事故の報告	例1	大学研究室において、不要となったエストックス乳剤400mlを廃棄のため、		
当地		事例	, -	生活系排水に	流出させた。不適切な廃棄方法が原因。被害報告はなし。	
		7 7 7	例2			
		会における				
	専門家の意見					
その	/他			_		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
56	アラニカルブ	83130-01-2

	項目				データ等	
	化学	注式		$C_{17}H_{25}N_3O_4S_2$		
	分子量(式量)		399.5			
	常温での状態		淡黄色結晶			
性状	融点		46.8∼47.2°C			
等	沸点	į		-		
	水溶	F解度		20mg/L(20℃)		
	Ζ.σ	Alta Martin		ベンゼン、キシ	レン、酢酸エチル、塩化メチレン、メタノール、アセトン等の有	
	その他		機溶剤に 500g	/L 以上溶解。		
取	主な	:用途		農薬		
扱状	製造	ē·輸入量		26t/年(農薬推	耸計値(平成 20 年度))	
況	その	他				
		急性毒性(経	口)	区分4	飲み込むと有害	
		皮膚腐食性/	刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
有害性	健康	眼に対する重篤な 損傷性/刺激性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
性	承	生殖細胞変異原性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
(GHS		発がん性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性		区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
分類	環境	水生環境有害性 (急性毒性) 水生環境有害性 (慢性毒性)		区分1	水生生物に非常に強い毒性	
	境			区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	
		法規制等		事故事例が確認された物質(水質事故)		
選定	条			アラニカルブを	含む農薬用原体を加熱中、ドラム缶の内圧が上がり約120kg	
件の	該	事故の報告	例1	飛散した。保温	器の異常高温(原因不明)。作業員1名が吐き気を訴え、付	
当步	け沢	事例		近住民から異身	見の苦情があった。	
			例2			
作業	美委員会における					
専門	専門家の意見					
その	その他			_		

備考		
----	--	--

物質番号	物質名	CAS No.
57	クロルデン	57-74-9

項目					データ等	
	化学式			C ₁₀ H ₆ Cl ₈		
	分子量(式量)			409.8		
性	常温での状態		淡黄色ないしコハク色の粘度の高い液体			
状等	融点		106°C(25°C)			
等	沸点			175°C (0.27Pa)		
	水溶解度			不溶		
	その)他		有機溶剤を含む	む液体製剤は引火性のことがある	
取	主な	用途		農薬(1968年5	夫効)	
扱状	製造	b·輸入量				
淣	その他					
		急性毒性(経口)		_	-	
		皮膚腐食性/刺激性		_	-	
有	/z _b -	眼に対する重篤な		_	_	
有害性(GHS	健康	損傷性/刺激性				
性((生殖細胞変異原性		_	-	
HE		発がん性		_	-	
		生殖毒性		_	-	
分類		水生環境有害性		_	_	
	環境	(急性毒性)				
		水生環境有害性		_	_	
		(慢性毒性)		**************************************	27 () - 2 (L FF / FF + 1/)	
	法規制等			認された物質(水質事故)		
選兌	至条	事故の報告 事例			に保管していたところ、ドラム缶の腐食によりクロルデン、クロ	
件の)該		例1	ルピリホスが河川に流れ出し河川を汚染したものと思われる。保存方法が不		
当步	犬況			適切であったため容器が腐食したことが原因。河川に流れでて魚が大量死		
			例2	した。		
/七型	1					
	作業委員会における 専門家の意見					
		/ 尽 九		ル家社 第一 1	重特定化学物質	
て 0.	その他			仏番伝	里付比于物具	

備考		
----	--	--

物質番号	物質名	CAS No.
58	クロルピクリン	76-06-2

項目					データ等	
	化学式			CCl ₃ NO ₂		
	分子量(式量)			164.4		
性	常温での状態			無色透明液体	(容易にガス化)	
状等	融点			−69°C		
等	沸点			112.4℃(分解)		
	水溶解度			2.27g/L		
	その他			有機溶剤とは消	昆和する	
取		用途		農薬		
扱状		告•輸入量		7948 t (国内	出荷量、PRTRデータ 平成 20 年度)	
況	その他					
		急性毒性(経口)		_	-	
		皮膚腐食性/刺激性		_	-	
有	健	眼に対する重篤な		_	-	
害	康	損傷性/刺激性				
(E)		生殖細胞変異原性		_	-	
有害性(GHS		発がん性		_	-	
分類		生殖毒性		_	-	
類		水生環境有害性		_	-	
	環境	(急性毒性)				
	况	水生環境有害性 (慢性毒性)		_	-	
		法規制等		事故事例が確認	I 認された物質(水質事故)	
		12次印刊 寸)製造工程で脱水のため充填器に移す際作業員がバルブを	
選定		事故の報告 事例	例1		く装置から約6.5Lが工場内に流出した。付近住民3名が眼	
	り該		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	の刺激を訴えた。		
当为	弋況		fret o	製品に希釈の目的で水を加えて缶に保存していたものが腐食し、倉庫床に		
			例2	漏洩した。		
作業	美委員会における		-			
専門	月家σ	意見				
その	その他			_		

備考		
----	--	--

物質番号	物質名	CAS No.
59	クロルピリホス	2921-88-2

項目					データ等	
	化学式			$C_9H_{11}Cl_3NO_3PS$		
	分子量(式量)			350.6		
	常温での状態		無色ないし白色の結晶			
性	融点		41~42°C			
性状等	沸点		160℃(分解)			
	水溶	F解度		1.4mg/L		
	その他			分解すると塩化	ど水素、ホスゲン等を含む有害で腐食性のヒュームを生じる。	
				強塩基、酸と反	応する。	
取		用途		農薬		
扱状	製造	É· 輸入量		96t(農薬推計値	直(平成 20 年度))	
況	その					
		急性毒性(経口)		_	-	
		皮膚腐食性/刺激性		_	-	
有	健	眼に対する重篤な		_	_	
有害性	康	損傷性/刺激性				
性()		生殖細胞変異原性		_	-	
(GHS		発がん性		_	-	
		生殖毒性		_	-	
分類	環境	水生環境有害性		_	_	
			(急性毒性)			
		水生環境有害	手性	_	_	
		(慢性毒性)				
233 -1	法規制等			認された物質(水質事故)		
選定	_ ,	+ U = +0 +1	Pri a	ドラム缶で屋外に保管していたところ、ドラム缶の腐食によりクロルデン、クロ		
	>該 犬況	事故の報告	例1	ルピリホスが河川に流れ出し河川を汚染したものと思われる。保存方法が不		
当初		事例	/Filo	週切じめつたた	上め容器が腐食した。河川に流れでて魚が大量死。	
/ /一 兴	例2					
	業委員会における 門家の意見					
		/ 总兄				
その	71世			_		

備考	